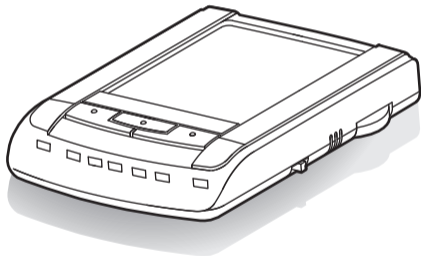


この度はベストワンシリーズレーダー探知機をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されており、正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。



ご使用上の注意	P2~4
おもな特長	P5
各部の名称	P6~7
ご使用にあたって	P8
使用初期の充電	P9
レーダー受信機の取付け方法	P10~11
使用方法 (各スイッチの設定方法)	P12~19
使用方法 (その他の機能用語)	P20
使用方法 (電池交換について)	P21
本機の受信方法	P22~24
故障かな?と思ったら	P25
仕様	P26
保証書	P27

## ご使用上の注意

---

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると、生じる事が想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。



### 警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。



### 注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。



## 警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

# ご使用上の注意 っづき

## 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、内蔵のニッケル水素電池等の消耗品は保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 本製品は、レーダー式（Xバンド・Kバンド）の速度取締機と、カーロケーターシステム（407MHz帯）のみ有効で光電管式・ループコイル式・ワイヤー式等、他の方式による速度取締機には反応しません。
- 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー）
- 一部のナビゲーションシステムなどの電装品装着車において、それら機器からの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります。
- 太陽電池の発電量は使用環境（気象条件・駐停車中の日照状況等）の影響を受け易く、通常状態よりはやく電池が消耗する事があります。シガープラグからの併用充電を行ってください。
- 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。
- 断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、ミラー式フィルム装着車の場合はレーダー波が受信できない場合があります。
- 本製品の故障による代替品の貸出、取付・取替工賃の保証は一切行っておりません。
- カーロケーターシステムは、一部地域ではまだ導入されていなかったり、システムが変更される地域もありますので全ての地域で警報するとは限りません。また、システムを導入している地域であっても一部車両に装備していない場合もあります。

# おもな特長

---

- シンプルモダンデザイン
- カーロケ無線遠近識別& 圏外警報
- 連続動作時間80時間達成（無警報待機時）
- X・Kバンド受信
- ステルス対応 / 新Hシステム対応
- レーダー受信感度（LOW・HI・S-HI）3段階切替え
- LSC-V（ロー・スピード・キャンセル）機能
- ASC-V（オート・センシティブ・コントロール）機能
- オートボリュームダウン機能
- ローバッテリー機能& バッテリーチェック機能
- ミュート機能
- ダッシュボード取付け可能ステー

# 各部の名称

## 本体



ASC-V受信感度  
設定スイッチ (P18,19)

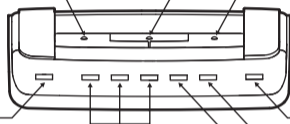


テスト/ミュート  
スイッチ (P15)



バッテリーチェック  
スイッチ (P17)

アラームランプ  
(赤)



アラームランプ  
(赤)

レベルメーターランプ  
(P17,24)

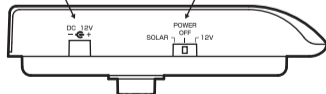
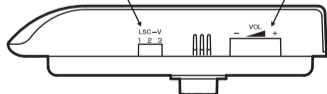
電源/受信感度ランプ  
(P13,15,16,18,19)  
カーaoke受信ランプ (青)  
(P22,23)

LSC-Vスイッチ  
(P16)

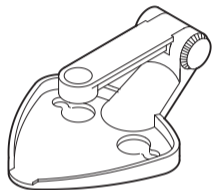
音量ボリューム  
(P15)

電源ジャック  
(P9)

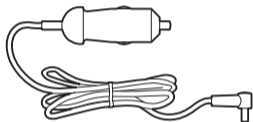
電源スイッチ  
(P12)



## 付属品



ジョイントステアー (1個)



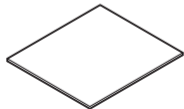
12V専用シガープラグ (1個)



平ワッシャー (1個)



取付けネジ (1個)

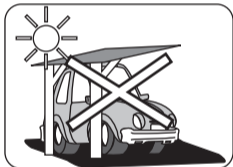


両面テープ (1枚)

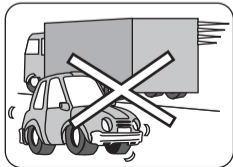
# ご使用にあたって

本製品の回路設計にあたっては、通常の使用状況において太陽電池の発電量と回路消費電力のバランスがとれるようになっていますが下記のような場合、発電量が不足しチャージサインが表示されることがあります。もしこのような症状が現れた場合は付属のシガープラグを使用して定期的に充電してください。

屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所へ長時間駐車される場合。



高速道路・交通量の多い道路脇・鉄道の線路脇等、絶えず振動を受けて動作状態になる場合。



冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる場合。又はUVカットガラスの場合、充電効率が悪くなります。



夜間走行の頻度が多い場合。





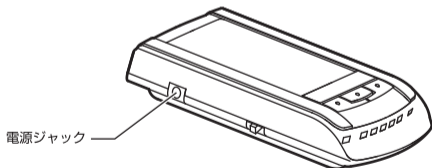
# 使用初期の充電

まず、最初に**充電**を行ってください。

出荷時には、検査用予備充電しかされておられません

長い間、本体を使用せず放置しておりますと内蔵電池が自然放電します。当社専用シガープラグコード（12V）を使用し、エンジンをかけて充電してください。一旦シガープラグコードを抜いてバッテリーチェックスイッチ（P17）を押してレベルメーターランプが緑色になれば、充電完了です。（電源スイッチは、ON/OFFどちらでも充電できます。）

※充電時間は、連続充電で約4時間必要です。（目安）



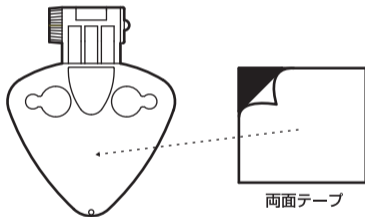
## ⚠ 注意

使用状況・使用環境にもよりますが、おおむね4～5年が目安となります。内蔵電池の寿命に満たない前に内蔵電池の容量が低下する事（メモリー効果）がありますが、その場合は一度完全放電させてから満充電にすると、性能がもどる場合があります。また、内蔵電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので交換の際は弊社サービス部までご連絡ください。

# レーダー受信機の取付け方法

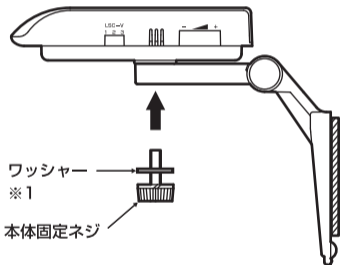
## ダッシュボードへの取付け

- 1** ステアに両面テープを取付けます。



( ステアを取付ける前にダッシュボード上の  
汚れをきれいに拭き取って下さい。 )

- 2** レーダー受信機本体をステアに取付け  
ます。

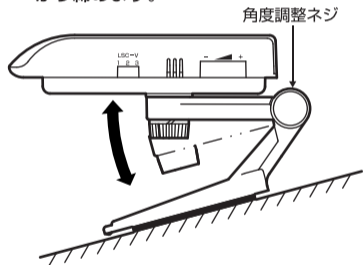


※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきます  
のでご注意ください。

# レーダー受信機の取付け方法

## ダッシュボードへの取付け

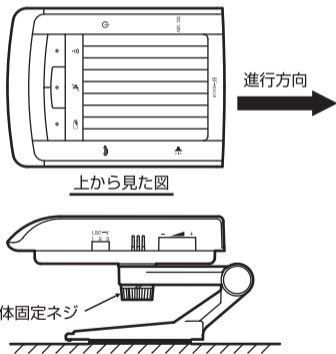
- 3** ダッシュボード上に固定します。  
レーダー受信機が地面と平行になるように角度調整後、角度調整ネジを手でしっかり締めます。



**⚠ 警告**

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。  
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くように、調整した後、本体固定ネジを手でしっかり締めます。



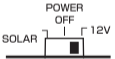
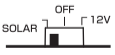
# 使用方法（各スイッチの設定方法）

## 電源スイッチの入れ方

本機は、シガーコードを接続する【12V連動モード】とソーラー電源を使用する【ソーラーモード】を電源スイッチで設定します。

**1** 本機の電源スイッチを【12V】又は【SOLAR】（下図）のいずれかに合わせます。

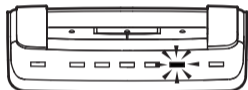


スイッチ位置	モード	使用状態
OFF	——	機能OFF：シガーコードを接続してエンジン始動状態で本体を充電できます。
	12V連動モード	<u>シガーコードを接続して使用する場合</u> ※エンジンを停止してもシガーコードに電圧が12Vになる車両（一部輸入等）は必ずオプションSS-063「電源配線ユニット」をご使用下さい。 シガープラグ電源と連動する為、エンジン始動時に本機がONになり、エンジン停止時に本機の電源がOFFします。
	ソーラーモード	<u>ソーラーのみ（シガー配線しない）で使用する場合</u> ソーラー充電による充電電池を使用して作動します。車の振動を検出し、振動がある場合は本機をONにし、振動がなくなると少し時間がたってから本機をOFFにします。 ※充電する場合はシガーコード接続が必要になります。 又、接続した状態でも本機を使用できます。

# 使用方法（各スイッチの設定方法）

2

本機から起動音が鳴り、電源／受信感度ランプが光ります。



起動音及び電源／受信感度ランプの光りかた

12V連動モードの場合  
(シガーコードを車両に接続してキーをONにしている場合)

起動音 “ピッピッピッ” と鳴り  
電源／受信感度ランプが点灯します。  
(振動が無い場合、3回点滅)

ソーラーモードの場合  
(シガーコードを接続していない場合)

起動音 “ピッピッピッ” と鳴り  
電源／受信感度ランプが(1回)点滅します。  
(振動が無い場合、3回点滅)

# 使用方法（各スイッチの設定方法）

## オートパワーOFF機能について ※ソーラーモードのみ

車両振動を検出しエンジン停止で駐停車等、振動の無い状態が続くと自動的に本機の電源がOFFします。

※車両によって停車時の振動が異なるため、電源がOFFする時間が変わります。必ず、LSC-Vスイッチの設定（P16）を行って下さい。

12V連動モードの場合 (シガーコードを車両に接続して キーをONにしている場合)		ソーラーモードの場合 (シガーコードを接続していない場合)	
	電源/受信感度ランプ		電源/受信感度ランプ
振動検出時	点灯	振動検出時	1回点滅
振動未検出時	3回点滅	振動未検出時	3回点滅

オートパワーOFF状態の時、エンジン始動や走行振動を検出した場合、自動的に本機の電源がONになります。

- ※ 振動や騒音の激しい場所に駐停車している場合は、本機が振動を検知して電源がOFFしない場合があります。その場合、電源スイッチで電源をOFFして下さい。
- ※ 車両によっては、走行中でも低速走行時や停車時に振動が検出できない状態が続き、振動検出ができない場合はオートパワーOFF機能が働きます。

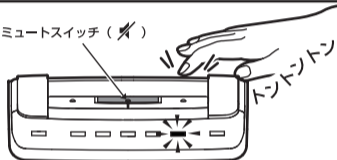
# 使用方法（各スイッチの設定方法）

## テスト/ミュートスイッチ（ $\cancel{\text{M}}$ ）と音量ボリュームの設定

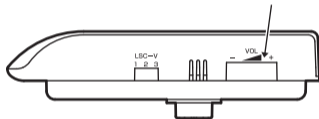
テスト/ミュートスイッチ（ $\cancel{\text{M}}$ ）とは

本機がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート（消音）機能を兼用したスイッチです。

テストミュートスイッチ（ $\cancel{\text{M}}$ ）



音量ボリューム



### テストモードを使用する

- 1 本機の電源がONになっていることを確かめます。電源がソーラーモードの場合LSC-Vスイッチを3に設定して、本機に軽く振動を与えながらテスト/ミュートスイッチ（ $\cancel{\text{M}}$ ）を押します。（約20秒間アラームが鳴ります。）

- 2 その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。

### ミュート（消音）機能を使用する

レーダー波を受信中、テスト/ミュートスイッチ（ $\cancel{\text{M}}$ ）を押すとレベルランプは受信状態のまま、警告音だけをカットします。

ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

# 使用方法（各スイッチの設定方法）

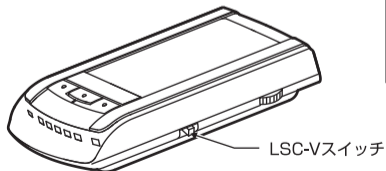
## LSC-Vスイッチ（) の設定

LSC-Vスイッチとは

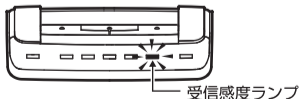
車の走行振動を利用して駐・停車時の不要な警告音を自動的にカットする為の振動調整用スイッチです。

### LSC-V機能の設定方法

- 1** 本機の電源スイッチ（P12）をソーラーモードに入れて電源／受信感度ランプが点滅している状態で設定して下さい。シガーコードを接続して使用している時は外してから調整を行って下さい。
- 2** アイドリング状態（駐・停車時）でLSC-Vスイッチを電源／受信感度ランプ表示が3回点滅するところに合わせます。  
(LSC-Vの振動感度は 1…鈍感 2…中 3…敏感 としてあります。)  
走行時、30～40Km/h以上で電源／受信感度ランプが1回点滅していれば、設定完了です。



LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車種タイプ（目安）
1	低	ディーゼル（振動の大きい車種）
2	中	ガソリン／ディーゼル
3	高	ガソリン（振動の小さい車種）



※ 車両振動が極端に大きな車や、駐・停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC機能が正常に働かない事があります。




# 使用方法（各スイッチの設定方法）

## バッテリーチェックスイッチ（) について

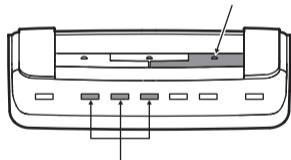
本機内蔵電池の充電状態が確認できます。







**1** 本機の電源をソーラーモードにします。

**2** バッテリーチェックスイッチ（) を押します。  
充電状態が、レベルメーターで表示されます。（下図参照）

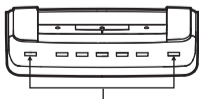
バッテリーチェックスイッチ（)

レベルメーターの色



レベルメーターの色	アラーム音	レベルメーターの色
  赤色	ブブブ	充電必要
  橙色	ピッピッ	充電をおすすめします
  緑色	ピッピッピッピッ	充電良好

本機は電池容量不足の場合、自動的にお知らせするローバッテリーサイン機能を採用しています。（詳しくはP20）



レベルメーター（赤）点滅と連動して音が“ブブブブブ”と鳴ります。

# 使用方法（各スイッチの設定方法）


## 受信感度スイッチ（) の設定

本機のレーダー受信感度設定は、オート（自動）感度設定とマニュアル（手動）感度（ASC-V）設定のどちらかを選択することができます。走行条件に合った最適な受信感度を設定してください。

（工場出荷時は、オート感度に設定）


## オート感度（ASC-V）設定のしかた

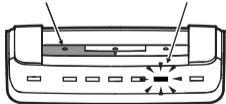
ASC-Vとは走行条件に合わせ自動的に受信感度を設定するオート・センシティブ・コントロールの略語です。

- 1 電源がONになっていることを確かめてから受信感度スイッチ（) を2秒以上長押しします。“ピッピッピッピッ”とアラームが鳴り、電源／受信感度ランプが 緑 → 橙 → 赤 の順に表示を約3秒間繰り返してオート感度（ASC-V）がはたらきます。

注 マニュアル（手動）感度に戻したい場合はもう一度、受信感度スイッチを2秒以上押しと、“ピッピッ”と鳴りマニュアル（手動）に切替わります。

※ バッテリー容量が無くなった場合、又は電源スイッチをOFFにした場合はASC-V機能が解除されます。


受信感度スイッチ（)      電源／受信感度ランプ  
2秒以上長押し                      （ 緑 → 橙 → 赤 ）



※ マニュアル感度に戻したい場合は、もう一度同じ操作を行います。“ピッピッ”と鳴りマニュアル感度に切替わります。

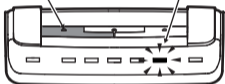
# 使用方法（各スイッチの設定方法）

## マニュアル（手動）感度設定のしかた

- 1** 電源がONになっていることを確かめてから受信感度スイッチ（）を短押します。  
“ピッ”とアラーム音が鳴り、電源／受信感度ランプの色が切替わり点滅します。

- 2** 最適な受信感度（右表）を選択します。

受信感度スイッチ      電源／受信感度ランプ



受信感度ランプ発光色	受信感度	走行場所	走行状態
赤	L (LOWモード)	市街地	低速走行
橙	H (HIモード)	郊外	中速走行
緑	S-HI (SUPER-HI)	高速道路	高速走行

# 使用方法（その他機能用語について）

## その他機能用語説明

### オートディマー機能

電波を受信したのち、約15秒後に、自動的に警告ランプの明るさを調整します。

### オートボリュームダウン機能

電波を受信したのち、約15秒後に、自動的に警告音をボリュームダウンします。

### ローバッテリーサイン機能

本機は内蔵電池が充電不足になると、レベルメーターランプが点滅しアラーム音が約30毎に“ブップブップ”と鳴り続けて、ドライバーに充電が必要であることをお知らせします。（P17参照）  
このようなときは付属のシガープラグを使って充電して下さい。

# 使用方法（電池交換について）

---

## 電池交換について

内蔵電池は、使用状況・使用環境にもよりますがおおむね4～5年が目安となります。

内蔵電池の寿命に満たない前に電池容量が低下する事がありますが、その場合は、一度完全放電させてからフル充電すると性能が回復することがあります。それでも充電しても低下するようになりましたら、本機をお買い上げの販売店で本機の電池交換受付けをお願い致します。

ご不明な点がございましたら、弊社サービス部（0561）36-5654までご連絡ください。

# 本機の受信方法

## カーロケータシステムとは・・・

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、警報を行い。緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



カーロケータシステム装備車はGPSより算出した位置データを車両管理センターへ電波で送信しています。(注 右記※1参照)



本製品は各本部へ送信している電波を受信し警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。


※1

- 一部地域または、一部緊急車両には、カーロケータシステムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
- カーロケータシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
- 本製品が受信するカーロケータシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

# 本機の受信方法

## カーロケ受信方法

カーロケ受信電波の状況によって遠近識別及び圏外警報を行います。

距離	カーロケ無線受信状況	カーロケランプ (青) 	アラーム音
遠方	◇弱いカーロケ電波を受信した場合	ゆっくり点滅 (約2秒間)	カーロケランプ点滅と同期 ピッピッピッピッ (約2秒間)
近辺	◇突然強いカーロケ電波を受信した場合	早い点滅 (約2秒間)	カーロケランプ点滅と同期 ピッピッ… (10回) (約2秒間)
回避	◇一度、カーロケ電波を受信して数分間 受信しなかった場合	点灯 (約2秒間)	ピーピー (約2秒間)

※LSC-V作動時でもカーロケ遠近識別及び圏外警報は行います。

# 本機の受信方法

## レーダー受信方法

レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)				
レベルメーターランプ				
アラームランプ (赤) アラーム音		<p>※アラーム音、アラームランプは同期して動作します</p>		
アラーム音	受信感度ランプ	LOW (赤)	アラーム音が鳴らない	
	HI (橙) S-HI (緑)	アラーム音が鳴る		
ステルス受信		アラーム音 : ピロピロピロ・・・ (約3秒) アラームランプ : アラーム音と同期 (早い点滅)		



# 故障かな？と思ったら

---

次のような場合は、故障でない事がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

## 動作しない

- 本機のスイッチが「OFF」になっていませんか？ → 12ページ参照
- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ  
20ページ（ローバッテリーサイン機能）参照
- LSC-Vスイッチの感度設定が間違っていますか？ → 16ページ参照

## 警告音が鳴らない

- 音量ボリュームを低く調整していませんか？ → 15ページ参照

## 警告音が鳴りつづける

- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ  
20ページ（ローバッテリーサイン機能）参照

# 仕 様

---

電源電圧	3.6V (高容量ニッケル水素電池)
電池容量	300mAh
充電入力電圧	D.C 12V
消費電流	待機時 1mA以下 (無振動時) 最大時 80mA以下
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz) カーロケータシステム (407MHz帯)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10°C~+60°C -5°C~+60°C (充電時)
本体寸法	W67 × L92 × H15.2 / mm (突起部除く)
重量	102g